
たまらなくなるほど

燐乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たまらなくなるほど

【Nコード】

N3042J

【作者名】

燐乃

【あらすじ】

こんなにも近くににいるのに言えない。なのにすきですきでたまらなくなる。・・・ならんで歩く帰り道での恋心

「平気？」

「え、あ、うん」

・・・近くにいる体温が暖かい

気持ちがギュッと凝縮されて、たまらないくらいに
お互いの息遣いがますます鼓動を高鳴らせて

死んじゃうんじやないかってくらい・・・ドキドキする

長く長く巻いたマフラー

それから、選びに選びきったこの手袋

どちらも白とピンクでできた可愛いもの

だってちよっとくらい・・・意識してほしいんだ

今日だって・・・朝も髪を念入りにとかした
いつもは気にしない頭の先から指の先

それなのに、何故だかすごくモヤモヤする。

月に一回だけある、私にとっては天国みたいな委員会

彼とこうして横を歩くためなら、なんだってした

友達から聞いた情報で着く場所も先回り

その子のクラスにいくつもりでも、いつもいつもあの人ばかり目に入る。

ストーカーだって思われても、仕方がないくらい

委員会では2人とも遅くなるし
だからついでに、一緒に遅帰り。

こんなに冷たい風なのに、こうして隣にいと

熱く帯びる頬を冷ましてくれる・・・助け舟にだって思えちゃう

さみー、なんて呟く彼の手元

手袋かしてあげよっか、なんて言葉を出す勇気もなくて

笑って返す

そんなことしかできない。

私をもっと可愛い子だったら
私をもっと、気配りできて・・・あなたの好みだったなら

あなたは私を、見てくれるのかな。

こんなに感じてるよ。

こんなに、体中が熱くてたまらない

月にたった一回だけの

嬉しすぎるこの時間

15分にも満たないだろう、瞬間的に運命さえ感じる時間。

絶対いつか伝えるんだ・・・って

この想いは、相変わらず後回しだけど

耐え切れないほど大好き

泣きたいくらいに膨張していくこの気持ち

きつともつすぐ、最高潮。

(後書き)

女の子ってこんなかんじだと思っんです。
上手く出せることができたらいいな、なんて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3042j/>

たまらなくなるほど

2011年1月26日09時17分発行